



10年の記念に「平成金色夜叉」



看護長 西澤 尊子

今年のえべ・えべ祭は、開設十年に当たるので、「人の輪・心の和」をメインテーマに、職員は特別な思いで取り組んでいる。この10年間、施設を利用していただいた方々、ご家族、応援していただいた地域の方達との出会いを意識してこのテーマを掲げ、寸劇をやることになった。

寸劇は、「金色夜叉」に決定。「金色夜叉」は、尾崎紅葉の代表作。早速調べてみたが、初めて知ることばかり。明治30年1月1日から5年半にわたって読売新聞に連載され、泉鏡花の「婦系図」徳富蘆花の「不如帰」とともに明治の三大メロドラマと呼ばれていた。現在私たちの耳に馴染んでいる「金色夜叉」の歌は大正7年頃、演歌師によって作られた。また、昭和30年代までは、漫才のネタとしてもてはやされた。

私は金色夜叉を読んだことも無く、林長次郎と田中絹代の演ずる映画も見ることがない。それでも、「熱海の海岸散歩する…」の詩や、「宮さん善く覚えてお置き、来年の今宵今夜、再来年の今宵今夜、…」などのセリフは知っている。昭和30年といえば、私はまだ小学生である。映画を見た記憶もなく、テレビもない時代にどのようにしてこれらのセリフを覚えたものなのかわからないが、懐かしく思う。それなのに肝心の最後がどうなったのか知らない。それは、小説が終結しないうちに作者が没してしまっただけである。



さて、4月25日上演予定の「平成金色夜叉」の結末はどうなるのでしょうか。それは当日のお楽しみ。出演者も楽しみにしておりますので、是非お越しくださいませ。明治・大正・昭和初期に想いをめぐらせ、少しでも「人の輪・心の和」を感じていただければ幸いです。



白馬メディア開設10周年を迎えて



事務長 丸山 徹

平成13年(2001)4月、保健・医療・福祉サービスを一体的に提供する施設群として開設した私どもの施設は、今月おかげさまで満10周年を迎えることができました。皆さま方の温かいご支援やご協力に、厚く感謝と御礼を申し上げます。本当にありがとうございます。

大北地域の北部で唯一の老健施設として、また複合サービス提供主体として、果たすべき役割は大きく、そして重く、多岐にわたります。現在神城醫院の入院、白馬メディアの入所、かたくりの郷の入居利用者全体の9割以上が白馬、小谷両村の方のご利用となっております。白馬村の通所型介護予防事業として「まめった講座」も実施しております。また、配食サービスは白馬村は365日1日2食、小谷村は週に2日夕食を一軒一軒ご自宅にお届けしており、1日平均30食弱の食事サービスを提供しております。地産地消の推進にも積極的に取り組んでおります。

病院と家庭との中間施設として誕生した老健施設は、年月とともにその機能も少しずつ変化がみられます。『メディア』の名に込めた我々の思いく中間施設であること、情報発信施設であること>を常に念頭にこれからも取り組んで参りたいと思います。

現在白馬の事業所には120名余の職員が在籍しております。様々な経歴職歴をもった職員が多数おります。開設当日を経験した職員も21人在籍しております。私の目下の悩みは看護職員の確保であります。ご紹介いただける情報がございましたら、是非ご連絡いただければ幸いに存じます。

昨年、今年と雪が多く、今年は特に連続して雪が降り、本当に寒い日の連続でした。かたくりの郷の屋根の雪下ろしも2度経験しました。白馬の春は一斉に花を咲かせます。冬の寒さの中でためます花を咲かせる準備をし、モノクロの世界から一気に見事なフルカラーの世界になります。今年もあのサバ缶の入った「たけのこ汁」を食べるのを楽しみにしております。

この十周年を節目に、厳しい環境の中ではありますが、創意工夫を重ねサービスの向上に職員一同努めて参りたいと思います。今後とも、今まで以上に変わらぬご指導ご鞭撻を頂きますようよろしくお願い申し上げます。



異動のご挨拶

平成 23 年 4 月 1 日付で、介護部長に 柴田みや子、かたくりの郷介護主任に 原田直美 が就任致しました。今後、佐藤千枝子は後任の育成にあたります。よろしくお願い申し上げます。

介護部長就任 柴田 みや子

白馬メディアの施設をご利用いただく皆さまにその方がこれまで培ってこられた、ご家族はじめ地域との繋がりを、ひとり一人の想いを大切に、共に感じ、寄り添った介護に努めていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。



かたくりの郷主任 原田 直美

かたくりの郷の原田直美と申します。かたくりの郷は12名のあたたかいご利用者と10名の元氣なスタッフの大家族です。ここで暮らす皆がホッと安心でき、いつも明るく笑いの絶えないそんなかたくりの郷であるように努めていきたいと思っております。



介護部長退任 佐藤 千枝子

10年を経て、白馬メディアは地域の皆様に受け入れられ、支えられていると感じます。その中で、若いスタッフも成長しました。

今後は若い世代の後方支援を行いながら、施設ケアマネージャーとして仕事をさせていただきます。ご指導ください。



‘S’ ウェルネスクラブ小谷 施設案内

1. 開設
4月29日（プレオープンは4月20日予定）
2. 所在地
北安曇郡小谷村大字北小谷1717
（いわかがみと同じ旧北小谷小跡地）
3. 連絡先
電話：0261-71-6622
FAX：0261-71-6602
4. スタッフ
健康運動指導士 常勤2名
受付・監視員 非常勤数名
5. 営業時間
・平日・土曜日 10:00~21:00 最終入場 20:15 まで
・日曜祝日 10:00~18:00 最終入場 17:00 まで
・定休日 毎週水曜日・年末年始

6. 施設設備（予定）

- | |
|--|
| ①プール
・25m×4コース（1コースは歩行専用） |
| ②スパゾーン
・温熱浴（岩板浴）
・スチームサウナ
・気泡浴（ジャグジー）
・シャワー |
| ③トレーニングルーム
・ランニングマシン×4
・エアロバイク×3
・各種筋カトレーニングマシン×6
・ダンベル、エアロビマット等 |
| ④リラクゼーションルーム
・マッサージチェア×4
・ジョーバ×2 |
| ⑤その他
・体力測定機器
・体組成測定器
・血圧計
・カフェスペース
・メディカルチェックルーム
・飲料の自動販売機 |

